経営倫理と技術者倫理の統合教育プログラムの構築



【中野キャンパス】人文社会学部 人間文化学科
グローバルコミュニケーションコース 教授

岡部　幸徳　Okabe Yukinori

URL：帝京平成大学　教員業績紹介ページ

キーワード：経営・技術者倫理・統合教育プログラムモデル・経営倫理

研究の概要

SDGs 目標　4：質の高い教育をみんなに
SDGs 目標　9：産業と技術革新の基盤をつくろう

日本の高等教育機関における「技術者倫理」教育は、日本技術者教育認定機構によって義務付けられ、理工学系高等教育機関で開講されている。また、技術者教育に関する研究発表は毎年 300 以上ある。

一方で、科目としての「経営倫理論」、もしくは「企業倫理論」「コンプライアンス論」の開講は高等教育機関では義務化されていない。つまり、「技術者倫理」教育と「経営倫理」教育の乖離が大きいのである。そのため、高い倫理観をもつ技術者が企業に就職すると、経営者や上司にその価値観を大きく揺さぶられ、自らの価値観と異なる方法で業務遂行を指示されるなどの軋轢が起こる可能性がある。

こうした課題が、経営と技術者倫理の“統合教育プログラムモデル”の必要性を示すものであり、質保証がなされた“経営と技術者倫理の統合教育”の実施が急務だと言えるであろう。産学一体となった技術者倫理教育と経営倫理教育の統合型“標準講義モデル”の構築を目指して研究をおこなっている。

今後は、技術者倫理、及び経営倫理という 2 つの新しい統合倫理教育プログラムで扱っている事例に関して、哲学倫理学分野における新たな研究分野である“行動倫理学”（善悪の判断の潜在的偏向性に関する研究）の観点からも、技術者倫理と経営倫理の相克、軋轢を分析解決する方法を探求していくことを考えていく。

実学へのつながり・産業界や自治体へのアピールポイント・協力可能事項・協力希望事項

企業内のコンプライアンス研修などでケースシナリオを用いたディスカッション形式の研修をおこなうことが可能です。また、自社のオリジナルディスカッションケース教材の作成方法なども支援可能です。

知的財産・論文・学術発表など（詳細は右上 QR コードの教員紹介からご確認ください）

【関連書籍】
- 「よくわかる経営倫理・ＣＳＲのケースメソッド：エシックストレーニングのすすめ」
- 「経営倫理入門：サスティナビリティ経営を目指して」

【科研費】
- （18K02838）経営倫理教育と技術者倫理教育の統合－統合教育モデルと教育の質保証評価手法の構築